

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	長期保管した血液検体のペプチド・タンパク質における変動解析 (保管期間を過ぎた調査用血液検体のペプチドーム・プロテオーム 解析)
研究期間	2019年1月～2020年3月
研究機関名	日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所
研究責任者職氏名	研究開発部 血液製剤技術専門員 阿部高秋

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

献血の採血時には、血液製剤のための血液だけでなく、検査等に使用される血液も採血します。その一部はウィルスの感染が発覚した際に感染時期を調査する目的で、冷凍して11年間保管されます。保管期限を過ぎた血液検体は廃棄されますが、今後は研究での利用も期待されています。しかし、11年という長期の保管による検体の品質への影響はよく分かっていません。本研究では、長期保管した検体中のペプチドとタンパク質の変動を解析することを目的とします。本研究を遂行することで、検体の品質が詳しく把握され、研究機関がより適正な研究活動を行えるようになります。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液の種類：2007年1月に採血された調査用血液検体

献血血液の情報：献血者の性別と年齢

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》本研究では、11年間の保管期限を過ぎた調査用血液検体を使用します。血液検体から液性成分を回収し、それに含まれるペプチドとタンパク質の同定と定量を行います。保管されていない血液検体を対照として、ペプチドとタンパク質の組成にどのような変動があるか検討します。対照群の構成にあたり、献血者の性別と年齢の分布を参照しますが、氏名、住所をはじめとした個人を特定できる情報は研究のために使用しません。また、血液検体と個人情報は完全に繋がらないように別の番号を付けて管理します。

5 研究の対象とされることへの拒否について

本研究で使用される個人情報に関して、2007年1月に献血された方で研究の対象とされることを拒否される場合は、下記の問い合わせ先に直接ご連絡ください。匿名化の前（2019年2月）ならば、その該当者は使用の差止めや情報の開示等を請求することができます。しかし本研究では対応表を作成しない匿名化を行うため、匿名化後は請求することはできません。

6 上記5を受け付ける方法

お問い合わせ（研究への使用の差し止め等）、苦情等は以下にご連絡ください。

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 研究開発部
担当者	阿部高秋
電話	03-5534-7509
Mail	t-abe@jrc.or.jp